

安全データシート (SDS)

自社識別コード： Radiometer-JPSDS-M3 037-4.0
改訂： 2026-1-16
製造所識別コード Radiometer SDS M3 037 (EU-EN/7.1)

ページ数 1/5
初版： 2016-02-11

1 化学品及び会社情報

化学品の名称

製品番号・製品名： 944-157 溶液パック 【ABL90 FLEX 用】
944-369 溶液パック 【ABL90 FLEX 用 Urea Crea】

本製品は、容器の中に下記の8種類のアلم製製の溶液のパックを含んでいる。
パック 1：気体 150ml (760mmHg/25°C)
パック 2~7：液体 2×200ml、4×100ml
パック 8：廃液格納用

推奨用途：

血液ガス分析装置に使用する、校正、及び、洗浄に使用する溶液

供給者に関する情報

販売元：ラジオメーター株式会社
〒140-0001 東京都品川区北品川 4-7-35
電話： 03-4331-3500

製造元：ラジオメーターメディカル社 (Radiometer Medical ApS)
Aakandevej 21 DK-2700 Broenshoej, Denmark
ホームページ：www.radiometer.com

緊急連絡電話番号

電話：03-6316-1586
担当： Quality, Regulatory & Medical Affairs

2 危険有害性の要約

GHS 分類：

健康有害性： バック 1：酸化性ガス 1
バック 2~7：皮膚感作性

GHS ラベル要素

バック 1



バック 2~7

化学組成に関する製造者からの情報に照らし、本製品は分類およびラベル表示を義務付けられない。

注意喚起語：

危険

危険有害性情報：

バック 1
H270 発火または火災助長のおそれ：酸化性物質。
バック 2~7
2-メチル-2H-イソチアゾル-3-オン
H317：皮膚アレルギー反応を引き起こすおそれがあります。

注意書き：

P220：可燃性物質から遠ざけてください。
P280：保護手袋、保護眼鏡、顔面保護具を着用すること。
P302 + P352：皮膚に付着した場合：多量の水で洗うこと。
P333 + P313：皮膚刺激や発疹が生じた場合：医師の診断・手当てを受けること。
P362 + P364：汚染された衣類を脱ぎ、再使用前に洗濯すること。

安全データシート (SDS)

自社識別コード： Radiometer-JPSDS-M3 037-4.0
944-157 溶液バック【ABL90 FLEX 用】

ページ数 2/5

3 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区分： 混合物

<バッグ1> ガス ※GHS 分類上の高圧ガスであり、高圧ガス保安法の規定する高圧ガスには該当しません。

%	CAS 番号	化学名
50-55	7727-37-9	窒素
40-45	231-956-9	酸素
3-7	124-38-9	二酸化炭素

<バッグ2> 水、塩、添加剤、及び、防腐剤

%	CAS 番号	化学名
0.5-<10	1132-61-2	4-モルホリノプロパンスルホン酸
0,0015-<0,025	2682-20-4	2-メチル-2H-イソチアゾル-3-オン

4 応急措置

応急措置の詳細：

本製品の通常使用時には関係しないが、バック（容器）が破損した場合の影響を示す。

- 吸入した場合： 新鮮な空気のある場所に移し、安静を保つ。
- 皮膚へ付着した場合： 石鹼と水で皮膚を完全に洗う。湿疹または他の皮膚障害の場合：医療処置を受け、これらの指示を持参する。
- 眼に入った場合： 直ちに大量の水で最大 15 分間洗い流す。コンタクトレンズを外し、まぶたを大きく開く。刺激が継続する場合：医療処置を受け、これらの指示を持参する。
- 飲み込んだ場合： 直ちに口をすすぎ、水を 1~2 杯飲む。曝露された者を観察下に置く。不快感がある場合、これらの指示を持参し病院へ搬送すること。

5 火災時の措置

- 適切な消火剤： 周辺物質に適切な火災消火剤を使用する。
- 使ってはならない消火剤： 情報なし。
- 火災時特有の危険有害性： バック 1：発火または火災助長のおそれ：酸化性物質・包装のサイズを考慮すると、リスクは微小と見なされる。

消火活動を行う者の

特別な保護具及び予防措置： 消火時の呼吸保護の選択：職場で指定された一般的火災対策に従う。

6 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置： この安全データシートに記載されている安全な取り扱いのための対策に従う。
- 環境に関する注意事項： 排水溝、水路または地面への放出を避ける
- 封じ込め及び浄化の方法及び機材： 容器に収集し、しっかり封印する。

安全データシート (SDS)

自社識別コード： Radiometer-JPSDS-M3 037-4.0
944-157 溶液バック【ABL90 FLEX 用】

ページ数 3/5

7 取り扱い及び保管上の注意

取り扱い

安全な取り扱いのための注意事項：

製品の設計上、ばく露は短時間かつ少量であると考えられる。

未破損品： 特別な注意は不要。

破損品： 皮膚および眼への接触を避けること。

本製品には、使用後の溶液類と測定した血液検体が、製品内の廃液バックに格納されるため、潜在的に感染性があると見なし、取り扱う際は、各施設で定めた感染防止手順に従うこと。また、使用後の本製品は感染性があるものとみなすこと。

保管

安全な保管条件：

製品ラベルに記載された保管温度を参照すること。

8 ばく露防止及び保護措置

濃度基準値

バック 1：二酸化炭素(CAS：124-38-9)：5000ppm もしくは 9000 mg/m³
※EC: Commission Directives 2009/148/EC, 2004/37/EC, 2000/39/EC and 91/322/EEC, with amendments.

設備対策：

適切な換気を提供する。

バック 1：職業性曝露限界値を守り、吸入リスクを最小化する。

注記：小型包装のため、吸入リスクは微小である。

保護具

呼吸用保護具：

特別な注意事項なし。包装が小さいため、吸入の恐れは極めて小さい。

手の保護具：

こぼれた製品と接触した場合：保護手袋を着用する。ニトリル製手袋推奨。

眼の保護具：

こぼれた製品と接触した場合：飛散リスクがある場合、安全ゴーグルまたは顔面シールドを着用する。

衛生対策：

接触後に手を洗う。

9 物理的及び化学的性質

	バッグ 1	バッグ 2～7		バッグ 1	バッグ 2～7
物理状態：	気体	液体	pH：	データなし	6.8-7.5
色：	データなし	データなし	動粘性率：	データなし	データなし
臭い：	刺激臭	無臭	溶解性：	水にわずかに溶解	水に完全に溶ける
融点/凝固点：	データなし	データなし	n-オクタノール/ 水分分配係数 (log 値)：	データなし	データなし
沸点又は初留点及び 沸点範囲：	データなし	約 100°C	蒸気圧：	データなし	データなし
可燃性：	データなし	データなし	密度及び/又は相対密度：	データなし	データなし
爆発下限界及び爆発上限 界/可燃限界：	データなし	データなし	相対ガス密度：	データなし	データなし
引火点：	データなし	データなし	粒子特性：	データなし	データなし
自然発火点：	データなし	データなし	その他のデータ：	データなし	データなし
分解温度：	データなし	データなし		データなし	データなし

安全データシート (SDS)

自社識別コード： Radiometer-JPSDS-M3 037-4.0
944-157 溶液バック【ABL90 FLEX 用】

ページ数 4/5

10 安定性及び反応性

反応性：	知見なし
化学的安定性：	通常の温度条件では安定。
危険有害な反応の可能性：	知見なし。
避けるべき条件	バッグ1： 熱、火花、裸火から遠ざけること。
混触危険物質：	本製品には関係しない。
危険有害な分解生成物：	特になし。

11 有害性情報

急性毒性（経口）（経皮）	利用可能なデータに基づき、分類基準に該当しない。
皮膚腐蝕／刺激性	利用可能なデータに基づき、分類基準に該当しない。
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	利用可能なデータに基づき、分類基準に該当しない。
呼吸感作性または皮膚感作性	バッグ2～7： 皮膚アレルギー反応を引き起こすおそれがある。
生殖細胞変異原性	利用可能なデータに基づき、分類基準に該当しない。
発がん性	利用可能なデータに基づき、分類基準に該当しない。
生殖毒性	利用可能なデータに基づき、分類基準に該当しない。
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	利用可能なデータに基づき、分類基準に該当しない。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	利用可能なデータに基づき、分類基準に該当しない。
誤嚥有害性	利用可能なデータに基づき、分類基準に該当しない。
吸入	利用可能なデータに基づき、分類基準に該当しない。
特異的な影響	利用可能なデータに基づき、分類基準に該当しない。
毒物学的データ	利用可能なデータに基づき、分類基準に該当しない。
追加情報	なし

12 環境影響情報

生態毒性	本製品が環境に及ぼす有害効果はわずかと見なされる。
残留性・分解性	製品は生分解するとされる。
生物蓄積性	生物濃縮性に関する使用可能なデータはない。
土壌中における移動性	データなし。
オゾン層への有害性	データなし。

13 廃棄上の注意

廃棄物の処理方法:	本製品には、使用後の溶液類と測定した血液検体が、製品内の廃液バックに格納されるため、潜在的に感染性があると見なし、感染性廃棄物として処理すること。
-----------	---

14 輸送上の注意

本製品は、危険物の輸送に関する国際規制（IMDG、IATA、ADR/AND/RID）の対象外です。

安全データシート (SDS)

自社識別コード： Radiometer-JPSDS-M3 037-4.0
944-157 溶液パック【ABL90 FLEX 用】

ページ数 5/5

15 適用法令

本物質または混合物に固有の安全、健康、環境関連規則/法規

<国内法>

化学物質排出把握管理促進法

(PRTR 制度)： 該当しない

労働安全衛生法： **■二酸化炭素**

**【 R8.4.1 以降】 名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物
(ラベル表示・SDS 交付義務対象物質) ≧ 1**

毒物及び劇物取締法： 該当しない

火薬類取締法： 該当しない

高压ガス保安法： 該当しない (GHS 分類上の高压ガスであり、高压ガス保安法の規定する高压ガスには該当しません。)

消防法： 該当しない

化審法： 特定化学物質・監視化学物質に該当しない

船舶安全法： 該当しない

航空法： 該当しない

港則法： 該当しない

食品衛生法： 該当しない

水道法 該当しない

大気汚染防止法 該当しない

水質汚濁防止法 該当しない

土壤汚染対策法： 該当しない

<国内規格>

JIS Z 7253:2019：GHS に基づく化学品の有害性情報の伝達方法 - ラベル、作業場内の表示及び安全データシート (SDS)

16 その他の情報

使用者は、適切な作業手順を指導され、本取扱説明書の内容を熟知していなければならない。

引用文献および参照ホームページ等

[NITE-CHRIP \(NITE 化学物質総合情報提供システム \)](https://www.chem-info.nite.go.jp/chem/chrip/chrip_search/systemTop) (https://www.chem-info.nite.go.jp/chem/chrip/chrip_search/systemTop)

免責事項

本データシートに記載されている情報は、当社の改訂日現在のデータです。本データシートは、本製品が所定の条件下にて、パッケージあるいは技術ガイダンス資料で指定されている通常の取り扱いを対象としたものです。本製品を他の製品と組み合わせて使用する場合や、他のプロセスと組み合わせて使用する場合は、使用者の責任となります。